

各位

株式会社ジェネティックラボ

病理診断WEB報告システムの開発開始のお知らせ

トランスジェニックグループの株式会社ジェネティックラボ(代表取締役社長:福永健司、北海道札幌市)は、2016年4月からのサービス提供を目標に、病理診断WEB報告システムの開発を開始いたしますので、お知らせいたします。

【サービス概要】

札幌市のITソリューションプロバイダと協力し、当社で実施している病理診断において、診断プロセス上の関連画像および診断報告書をすべてデジタル化し、WEBブラウザを介して臨床サイド(病院・クリニック)に診断結果を通知するITシステムを構築いたします。これにより、現在、数日かけて物流配送している紙ベースの診断報告が、WEB報告によって鮮明かつ迅速に臨床サイドに通知することができるようになり、報告日数の大幅短縮が可能となります。

医療診断技術の発展が目覚ましい現在でも、病理診断は最終診断と言われ、非常に重要であると考えられています。しかし、病理専門医は日本で約2,000人、道内では約100人と、人口当たりの比率で米国の1/5に留まっており、国民の医療、特にがん対策上憂慮すべき状況に陥っています。このように有限である診断環境の中、臨床サイドからの需要に応えるべく、当社では、常勤の病理専門医による診断および指導の下、熟練の専門技術者によって、病理診、細胞診合わせて年間約16万件を実施し、道内の病理診断業務を支えてまいりました。

当社では、大量の検体を正確かつ迅速に検査するために、数年前から検査工程の完全システム化を推進してまいりましたが、このたび、平成27年度ノーステック財団「札幌型ものづくり開発推進事業」(札幌市補助事業)補助金交付先に採択いただき、病理診断WEB報告システムの開発に着手することを決定いたしました。

当社は、検査情報の画像化および画像の転送技術、セキュリティーの厳重化などの技術面・安全性の問題から、全国でもほとんど類を見ない病理診断WEB報告システムの開発に挑戦し、この広大な北海道という地域において物理的な距離を埋め、臨床サイド、その先の多くの患者様が安心できる品質・スピード・サービスを提供したいと考えております。

【株式会社ジェネティックラボについて】

2000年、北海道大学発ベンチャー第一号として設立。常勤の病理医が在籍し、病理診断技術と分子生物学関連技術を駆使したサービスを展開。個別化医療の実現に向け、バイオマーカーの探索・評価技術の開発やコンパニオン診断薬等、医療に直結する製品・サービスの開発を支援します。従業員は73名であります。

お問い合わせ先

株式会社ジェネティックラボ 社長室

〒060-0009 北海道札幌市中央区北9条西15丁目28-196 札幌ITフロントビル3F

TEL: 011-644-7301 FAX: 011-644-7611 <http://www.gene-lab.com/>